

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道礼文高等学校長 中西 正 志

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> やる気をおこさせる学習指導 やりがいを求めて挑戦させる進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> やるべきはやらせる生徒指導
--	---

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>スタディサプリ等のICTの活用については、教職員の理解が進み、授業及び家庭学習において効果的な活用が図られている。</p> <p>一方で、生徒一人一人の学習状況に応じた学びを実現するため、教材提示の在り方について組織的に検討し、より効果的な活用を進めていくことが課題である。</p>	<p>本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。また、礼文高校では、様々な進路目標が実現することができることを、今まで以上にアピールし、生徒数の増加を目指すよう要望があった。</p>
改善方策	<p>これまで実施してきたSUTについては発展的に解消し、放課後の時間をこれまで以上に「個別最適な学び」の実現に向けて活用する。また、初任層に対する研修を一層充実させることで、授業力の向上を図り、より良い授業づくりを推進する。</p>	
生徒指導	<p>粘り強い指導の結果、誰一人欠けることなく1年間を過ごすことができた。また、寮とも緊密に連携を図り、協働した生徒支援を行うことができた。さらに、生徒が校則に対して疑問を持ち、主体的に考え解決しようとする姿勢が見られるなど、生徒の主体性の育成にもつながっている。</p>	<p>本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。これからも、地域の様々な行事等に積極的に参加し、地域の中にある学校であることを意識し教育活動を行ってほしいと要望があった。</p>
改善方策	<p>全校生徒がより良い学校生活を送ることができるよう、生徒の状況を丁寧に把握するとともに、町教委等との連携を図りながら、サポート体制のさらなる確立を推進する。</p>	
進路指導	<p>大学進学等、高い学力を求められる生徒への取組については改善が図られているものの、今後は取組内容の整理を行う必要がある。また、各進路行事についても振り返りを行い、より効果的な進路指導となるよう改善を図る必要がある。</p>	<p>本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。生徒数が少ないからこそできるきめ細やかな指導を継続して実施し、一人でも多くの生徒の進路が実現できるように指導してほしいと要望があった。</p>
改善方策	<p>大学進学希望者に対する取組を精査し、生徒の実態に応じた適切な課題量となるよう教員間で共通理解を図る。また、各進路行事についてPDCAサイクルを確立し、継続的な改善を図る。</p>	
健康安全指導	<p>1学年で活用しているシャボテンログ等のツールや、各種面談により、悩み事や困り感の把握を行っている。また、教育相談委員会等により生徒情報を共有し、学校全体で生徒を見守る仕組みを構築している。</p>	<p>本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。次年度以降も、面談などを通して、個々の生徒の悩みを把握し、解消に努め、生徒が前向きになるように指導してほしいと要望があった。</p>
改善方策	<p>特に初任層の教員が教育相談や特別支援教育に関する理解を深めることができるよう、定期的な研修や面談を実施し、指導力の向上を図る。</p>	
公表方法	<p>・Webページでの公開</p>	

3 添付資料：令和7年度(2025年度)学校重点事項自己評価【集計結果】

令和7年度(2025年度)「学校重点事項自己評価」に対する学校運営協議会委員による評価集計